

社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

<p>代表者氏名 (ふりがな)</p>	<p>榎本 博明 (えのもと ひろあき)</p>	<p>所属</p>	<p>名城大学</p>
<p>研究集会等名称</p>	<p>社団法人日本心理学会自己心理学研究会</p>		
<p>成果概要</p>	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 37 名 (うち認定心理士 0 名) 非会員 1 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>&lt;実施内容・成果&gt; 自己心理学研究会員が中心となって実施した内容・成果を以下に報告する。</p> <p><b>I. 自己心理学関連のワークショップ・シンポジウム</b> 日本心理学会第 74 回大会 (2010 年 9 月 20 日～22 日・大阪大学) にて 4 件 (1) 「現代青年の自己の諸相—アイデンティティ, キャリア形成および精神的健康をめぐる—」 (2) 「自己心理学における文化の問題 (8)」 (3) 「フランクフルトとマズローの再評価—人生の意味を問う心理学に向けて」 (4) 「生と死の実存的意味に関する心理学的研究 (3) —Terror Management Theory (TMT) をめぐって—」</p> <p><b>II. 書籍刊行</b> ・榎本博明 (編著) (2009, 2010). おうふう心理ライブラリー (『家族心理学』『人間関係の心理学』『発達心理学』) おうふう ・榎本博明 (編著) (2011). 自己心理学の最先端 あいり出版</p> <p><b>III. 定例合宿の開催</b> ・2010 年 2 月 27 日～3 月 1 日 (長野県戸倉), 8 月 5 日～7 日 (岐阜県下呂)</p> <p><b>IV. 研究会機関紙『自己心理学 第 4 巻』の発行</b> 執筆者 (かな順): 榎本博明 (名城大学)・梶原恵子 (九州保健福祉大学)・亀田研 (名古屋大学) ・山口智子 (日本福祉大学)・矢野宏光 (聖カタリナ大学)。</p> <p>&lt;将来計画&gt; 今年度と同様の内容・成果を実施予定である。</p>		